

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2002-334507(P2002-334507A)
 【公開日】平成14年11月22日(2002.11.22)
 【出願番号】特願2002-65421(P2002-65421)
 【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 17/26
 // G 1 1 B 17/04

【F I】

G 1 1 B 17/26
 G 1 1 B 17/04 3 1 3 G
 G 1 1 B 17/04 3 1 3 K

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月16日(2005.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

そして、各回転軸39,40,41,42には、対応するカムピン43,44,45および被押圧ピン46を、それぞれ、第1および第2チャッキングピン31,32がそれぞれ第1および第2ガイド孔27,28の内側端の方向つまり第1のCD8の通路を閉じる方向に移動し、また第3および第4チャッキングピン33,34がそれぞれ第1および第2ガイド縁29,30の内側端の方向つまり第1のCD8の通路を閉じる方向に移動するように常時付勢するスプリング47,48,49,50が設けられている。その場合、2つのスプリング47,48のばね力が他の2つのスプリング49,50のばね力より若干大きく設定されている。したがって、後述するように12cmあるいは8cmの第1のCD8がそれぞれ位置決め部25a,26に当接した正規位置に設定された状態では、2つのスプリング47,48のばね力で第1のCD8は位置決め部25a,26に当接した状態に付勢されて維持され、正規位置が保持されるようになっている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0054】

更に、第1チャッキング制御部材51はスプリング56のばね力で図5(b)において常時計方向に付勢されており、この第1チャッキング制御部材51に他の外力が加えられないときは、図5(a)および(b)に示す状態、つまり第1および第2チャッキングピン31,32がそれぞれ第1および第2ガイド孔27,28の内側端に位置するとともに第3および第4チャッキングピン33,34がそれぞれ第1および第2ガイド縁29,30の内側端にほぼ位置して、第1のCD8の通路を最も閉じた位置に設定されるようになっている。なお、スプリング56に代えてスプリング47,48,49,50の力を利用することもできる。その場合はスプリング56は不要となり、部品点数を削減でき、コストを低減できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

また、第1チャッキング制御部材51は後述するように第1ラックスライダ79により力が加えられて、図5(b)において反時計方向にスプリング56のばね力に抗して回転すると、各カムピン43,44,45がガイドされるので、第1ないし第3ピン支持板35,36,37がそれぞれ回転し、第1ないし第3チャッキングピン31,32,33がそれぞれ対応する第1および第2ガイド孔27,28の外側端、第1ガイド縁29の外側端の方へ向かって、つまり第1のCD8の通路を開く方向にこれらの第1および第2ガイド孔27,28、第1ガイド縁29にガイドされて移動するようになっている。

なお、第1チャッキング制御部材51はこのような回転式に代えて、スライド式のスライダを用いることもできる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0157

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0157】

すなわち、図27および図28に示すようにローラ・アーム式ディスク引込排出手段130は一对の駆動側アーム131と従動側アーム132とを備えている。駆動側アーム131は装置本体2の一侧(図27において上側)に回転可能に設けられ、図29に示すようにこの駆動側アーム131の回転軸131aには駆動ギヤ133が同軸にかつ回転可能に設けられている。また、駆動側アーム131の先端部にはディスク出し入れ駆動ローラ134が回転可能に支持されている。ディスク出し入れ駆動ローラ134にはローラ駆動ギヤ135がこのローラ134と同軸にかつローラ134と一体回転可能に設けられている。更に、駆動側アーム131には、駆動ギヤ133から動力をローラ駆動ギヤ135に減速して伝達する歯車動力伝達機構136が設けられている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0111

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0111】

また、第1ラックスライダ79の移動により、押圧部材85の端85aが第1チャッキング制御部材51の被押圧ピン51bを押すので、第1チャッキング制御部材51が回転する。これにより、チャッキングアーム35,36,37,38が回転し、第1ないし第4チャッキングピン31,32,33,34が図18(a)のCD待機位置となる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0169

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0169】

また、ストア位置Aにある第1CD保持搬送部材21の正規位置にセットされている第1CD8を取り出すために、操作キーを操作すると、第1モータ2が挿入時と逆方向に回転するとともに、前述の各例と同様に押出アーム58によりこの第1CD8が第1CD挿入取出口10の方へ押し出される。すると、第1CD8の押出側の先端外周の上下エッジ部がこれらの第1溝137および第1溝144によって挟持され、駆動ローラ134の回

動により第1CD8が回転しながら、第1CD挿入取出口10の方へ移動する。以下、前述の挿入の場合と逆に作動することで、第1CD8の一部が第1CD挿入取出口10から装置本体2の外部に飛び出し、飛び出したこの第1CD8を引き抜くことで、第1CD8が装置本体2から取り出される。

第2CD挿入取出口11からの第2CD9の出し入れの作動も同様である。

【手続補正7】

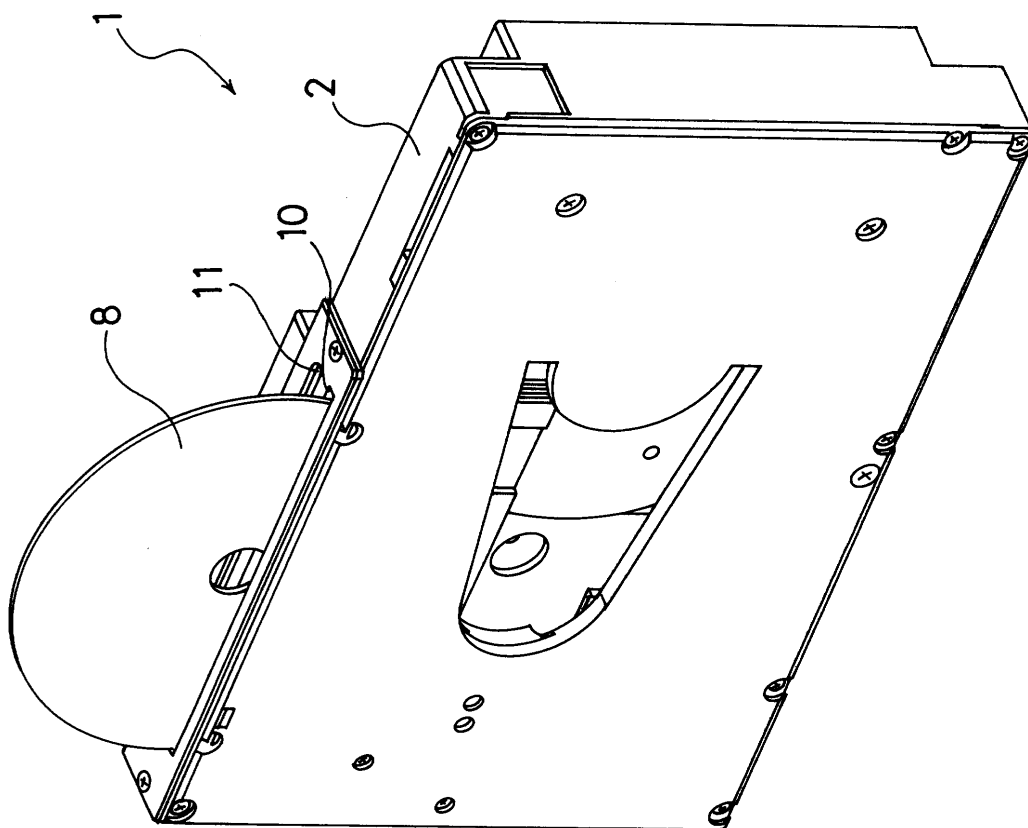
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図24

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図24】



【手続補正8】

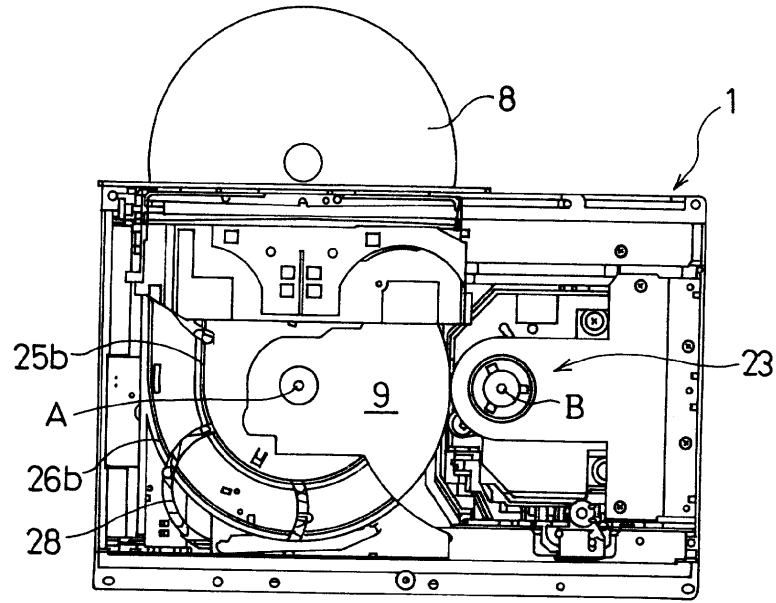
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図25

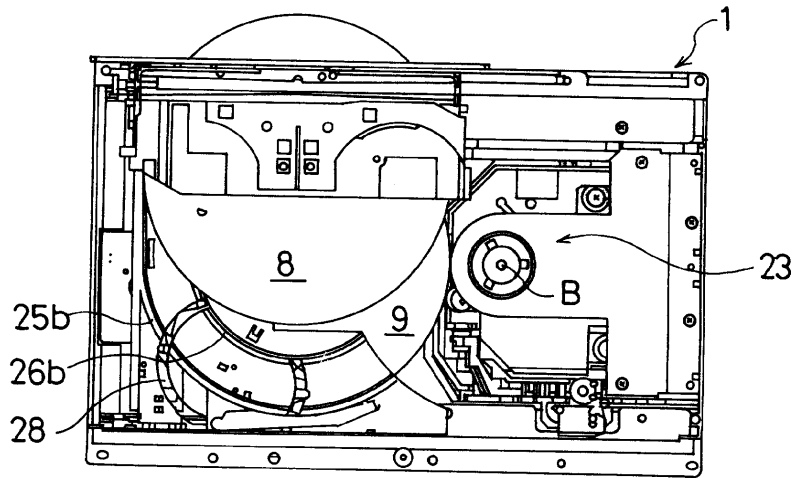
【補正方法】変更

【補正の内容】

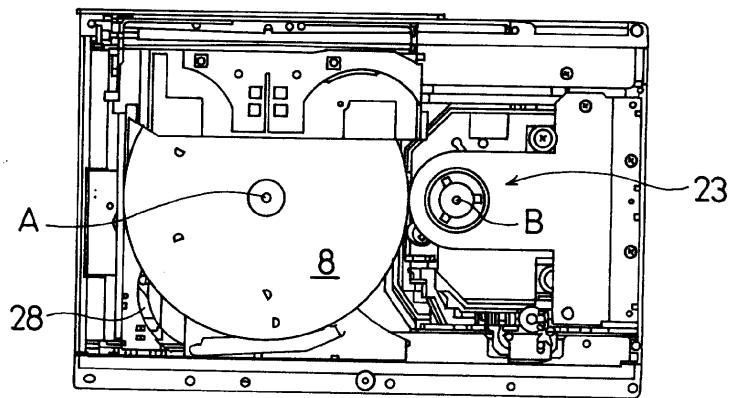
【 図 2 5 】



(a)



(b)



(c)

【 手続補正 9 】

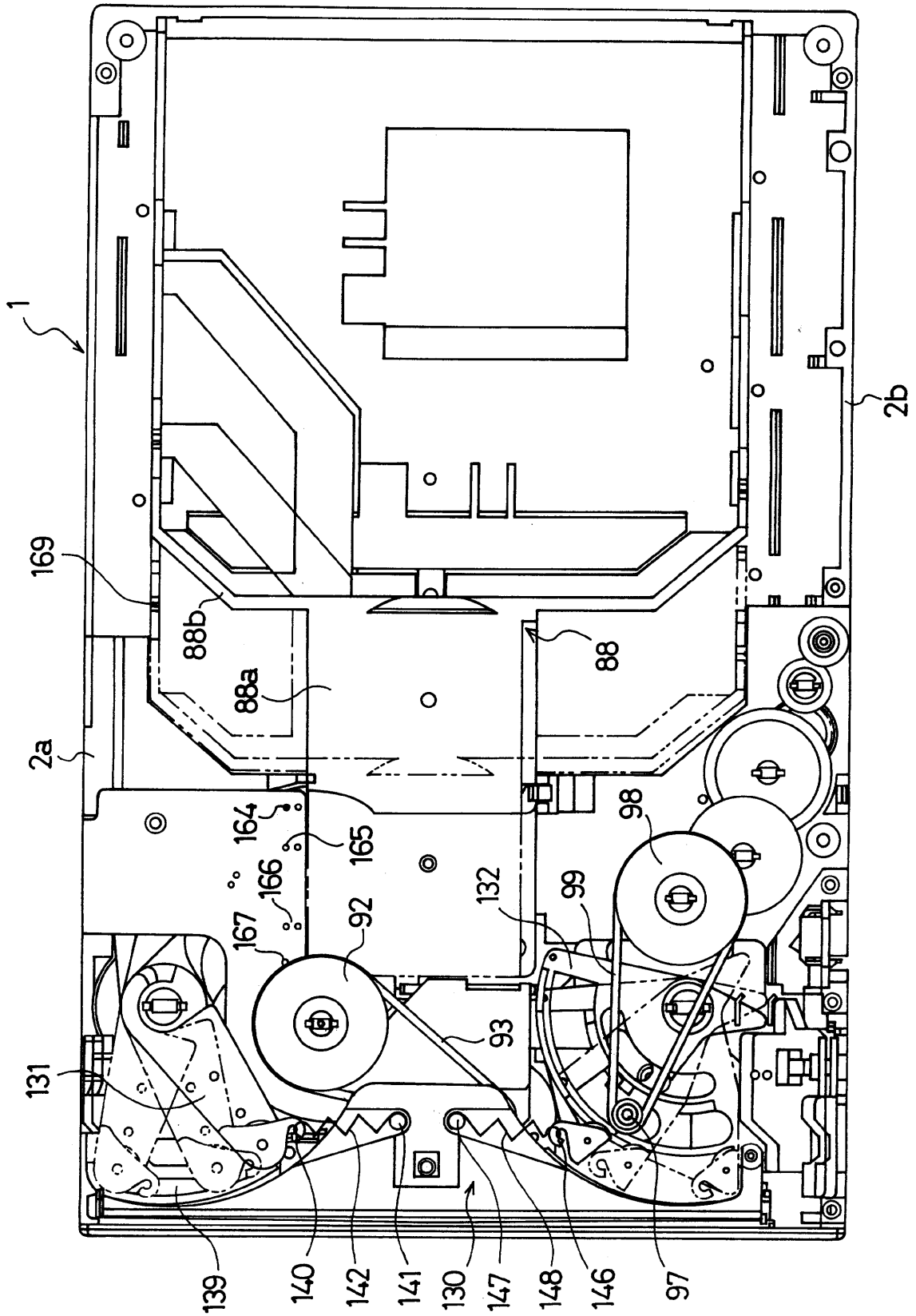
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 2 7

【 補正方法 】 変更

【補正の内容】

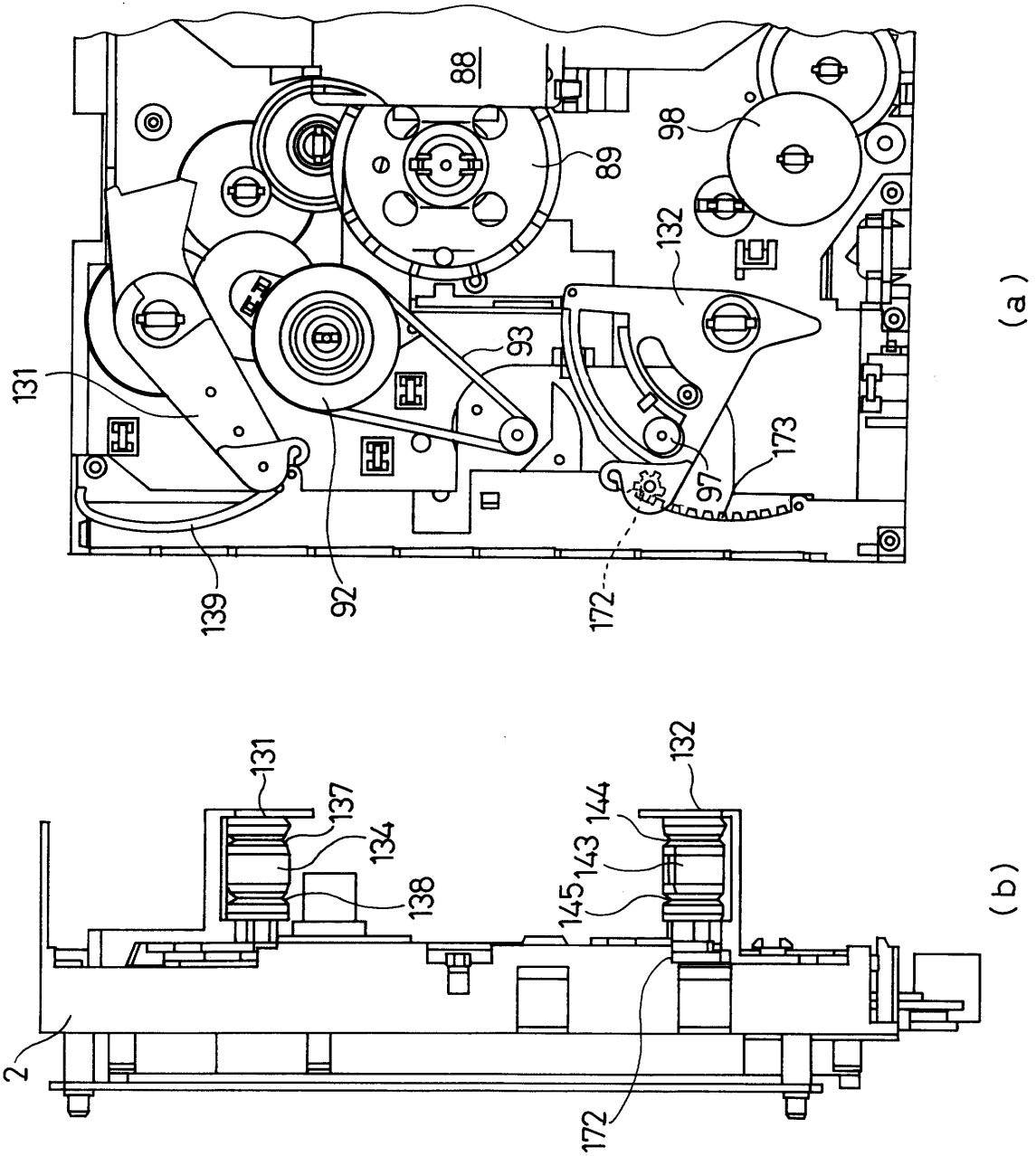
【図27】



【手続補正10】

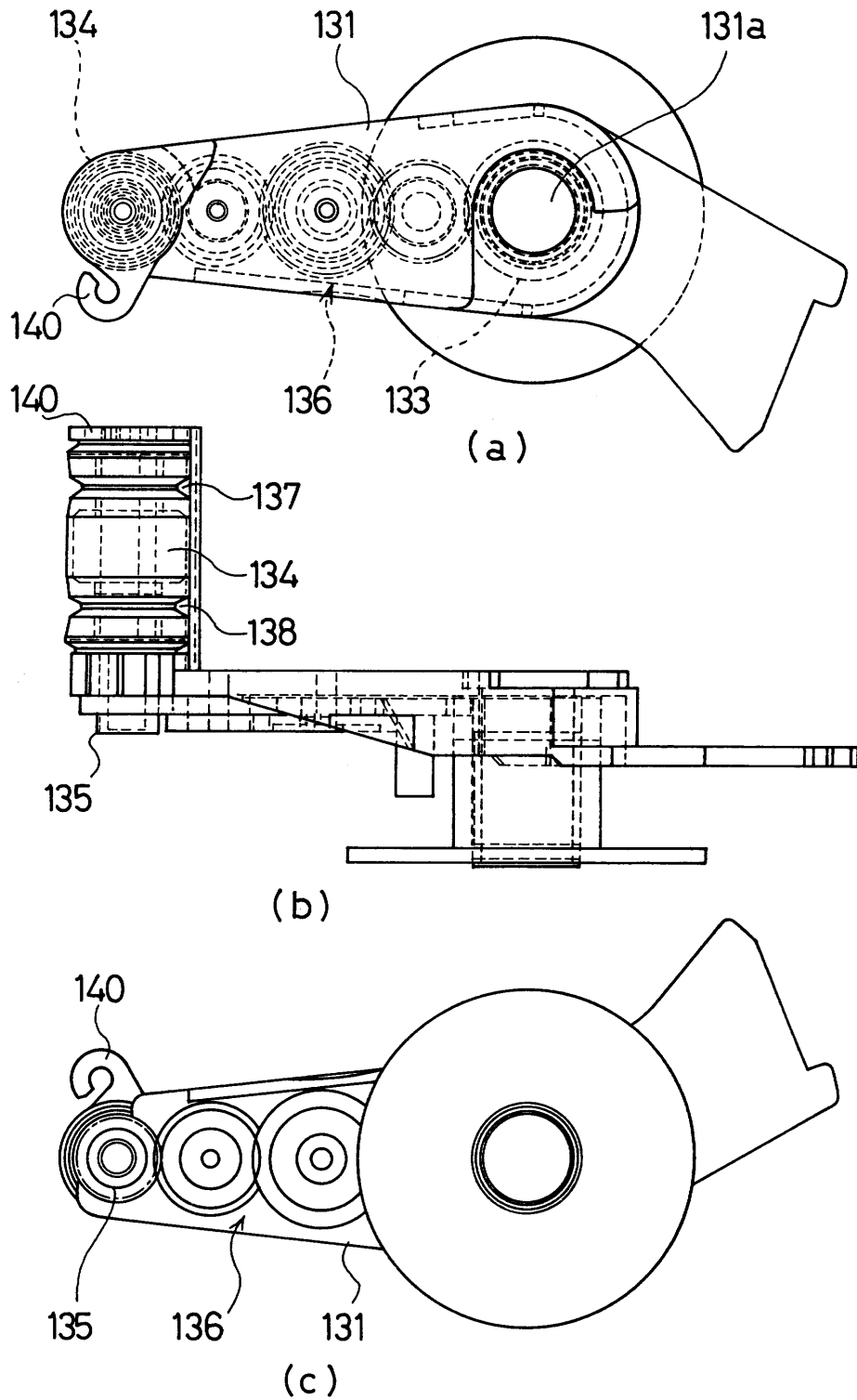
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 8
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図 2 8】



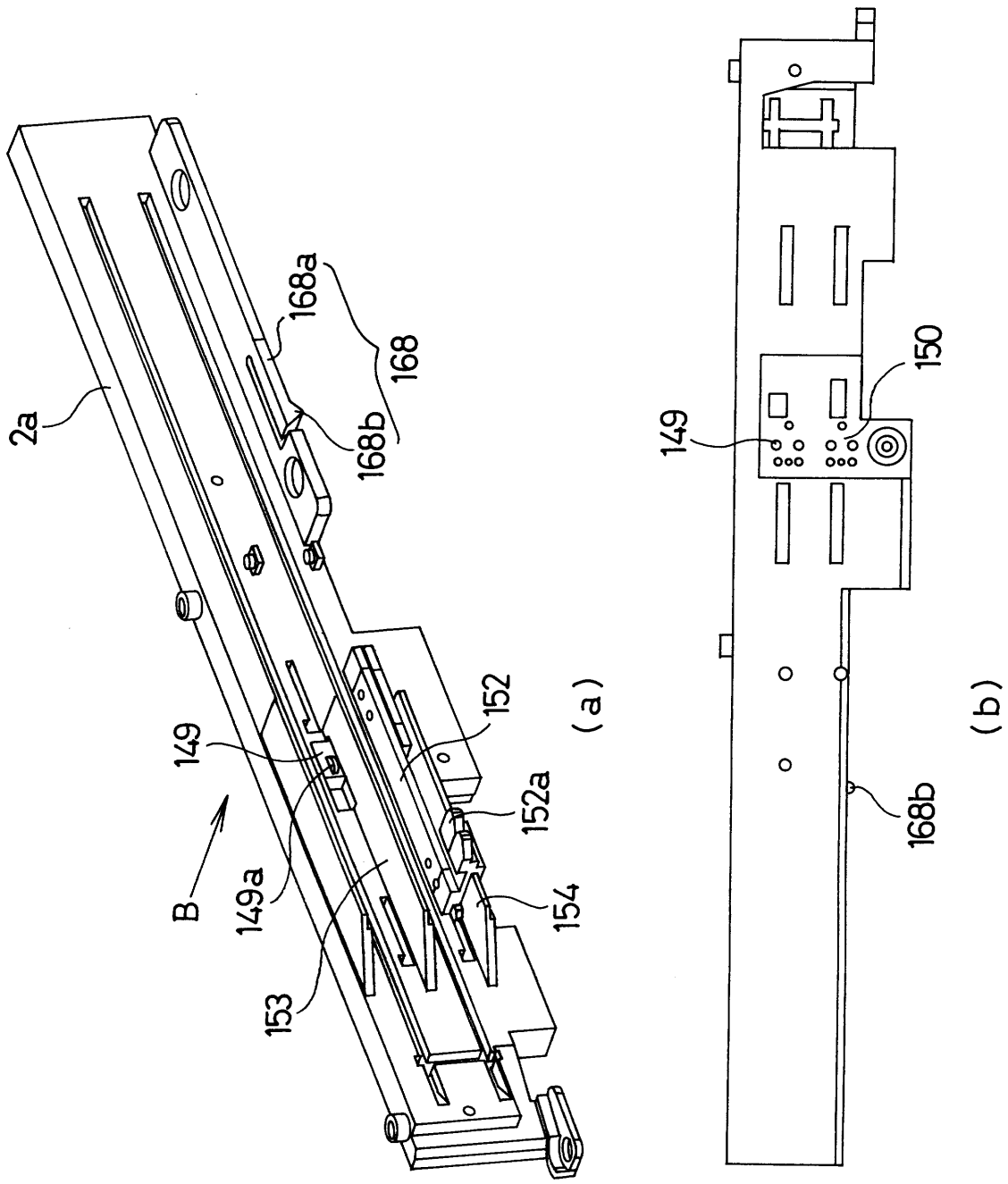
【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図 2 9
【補正方法】変更
【補正の内容】

【 図 2 9 】



【 手続補正 1 2 】
【 補正対象書類名 】 図面
【 補正対象項目名 】 図 3 0
【 補正方法 】 変更
【 補正の内容 】

【図 3 0】



【手続補正 1 3】

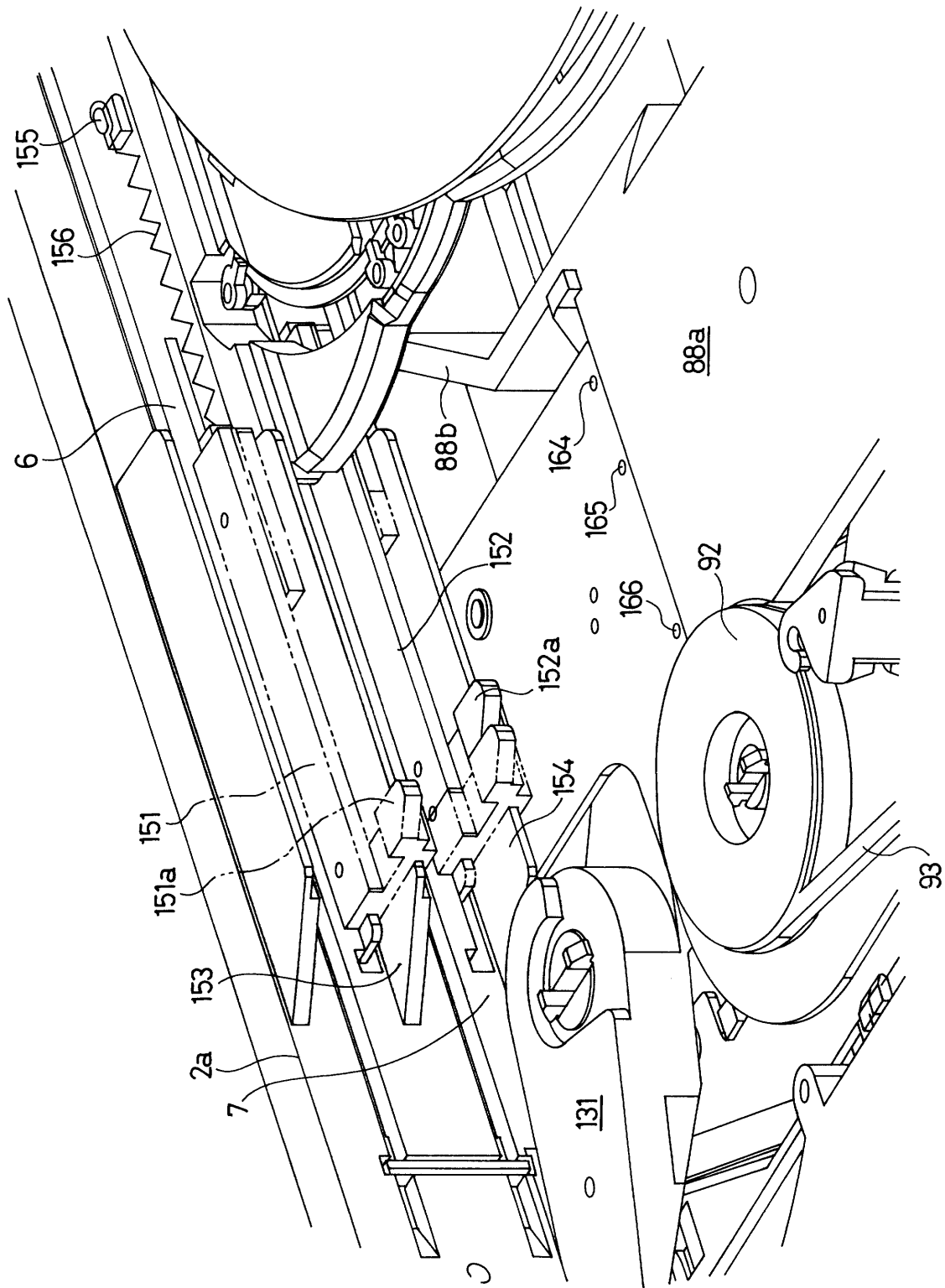
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 3 1 】



【 手続補正 1 4 】

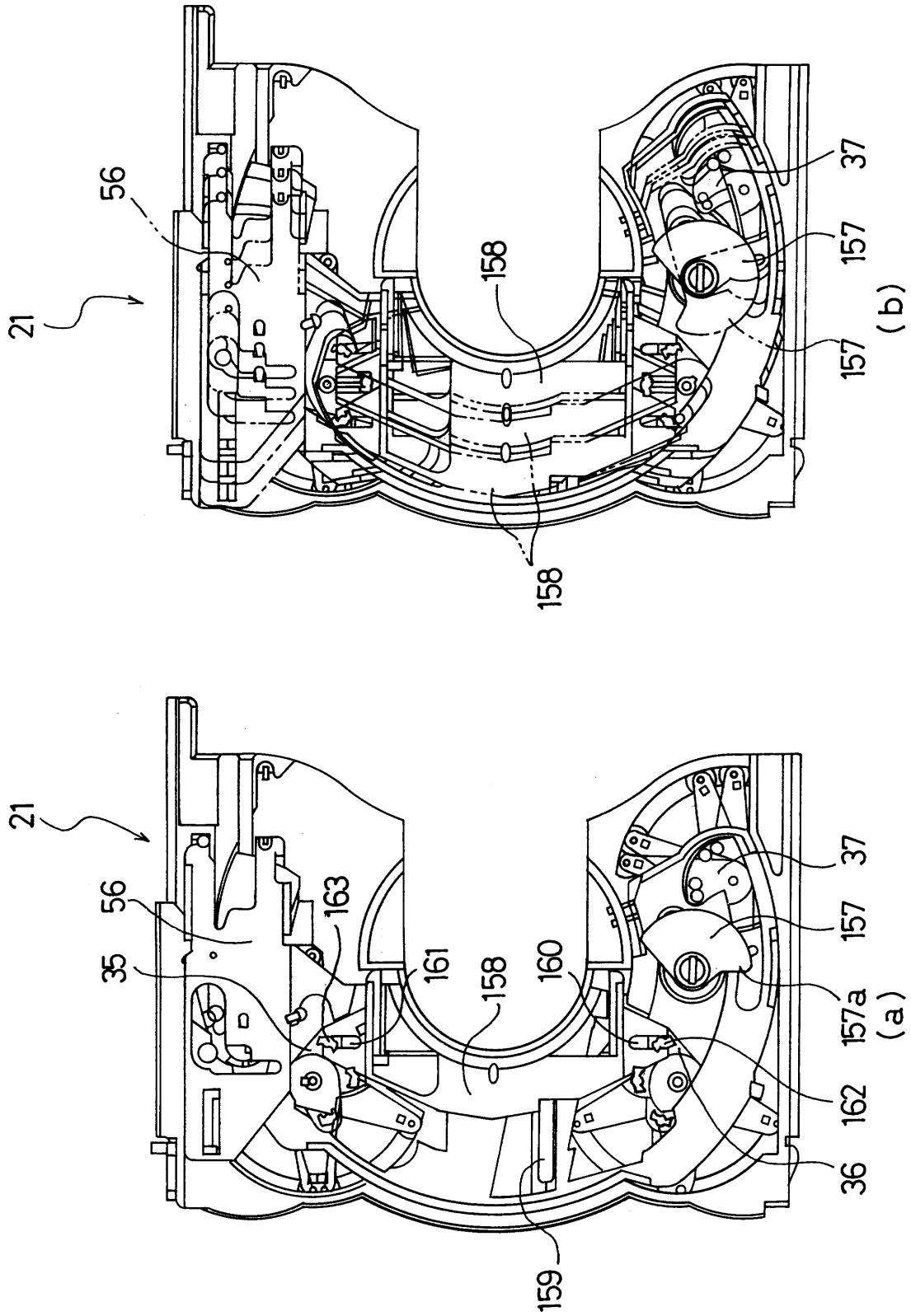
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 3 2 】



【 手続補正 1 5 】

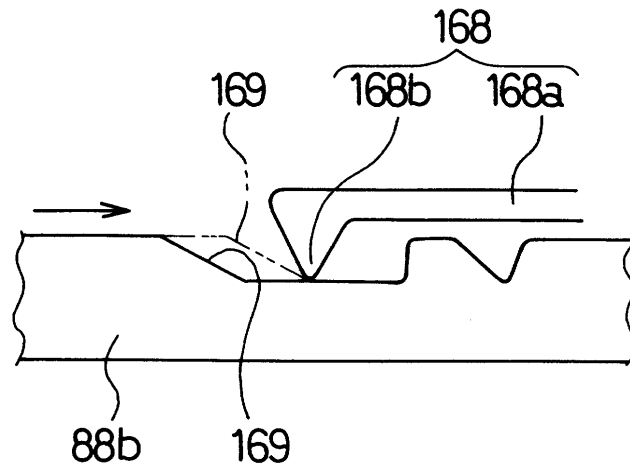
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 3 3 】



【 手続補正 1 6 】

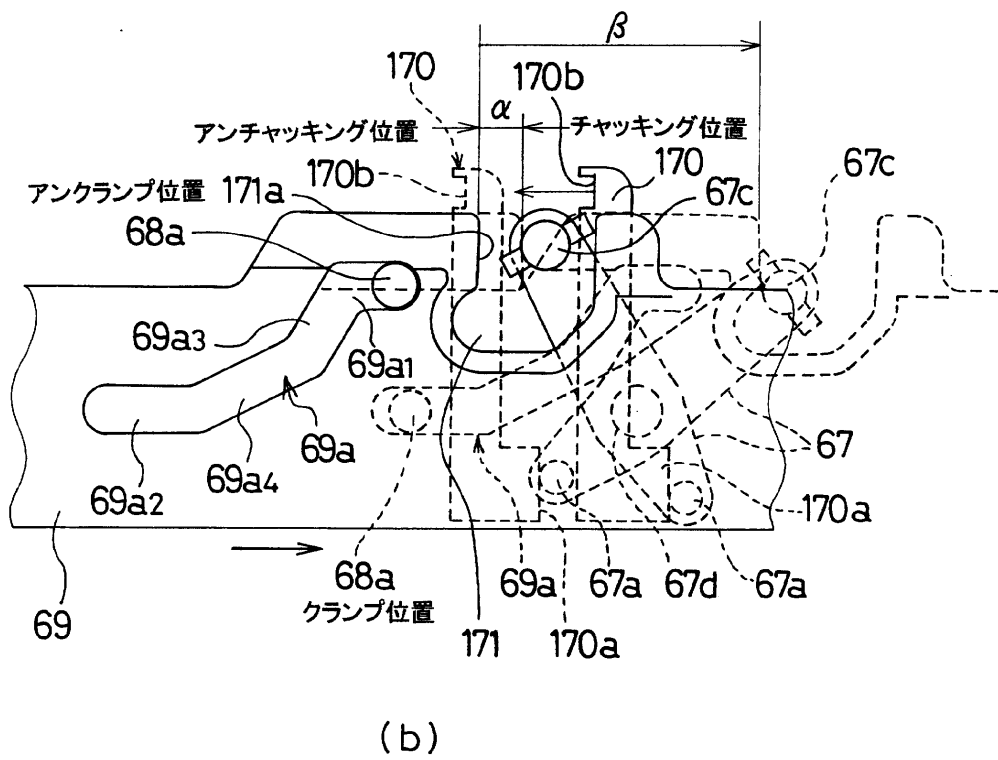
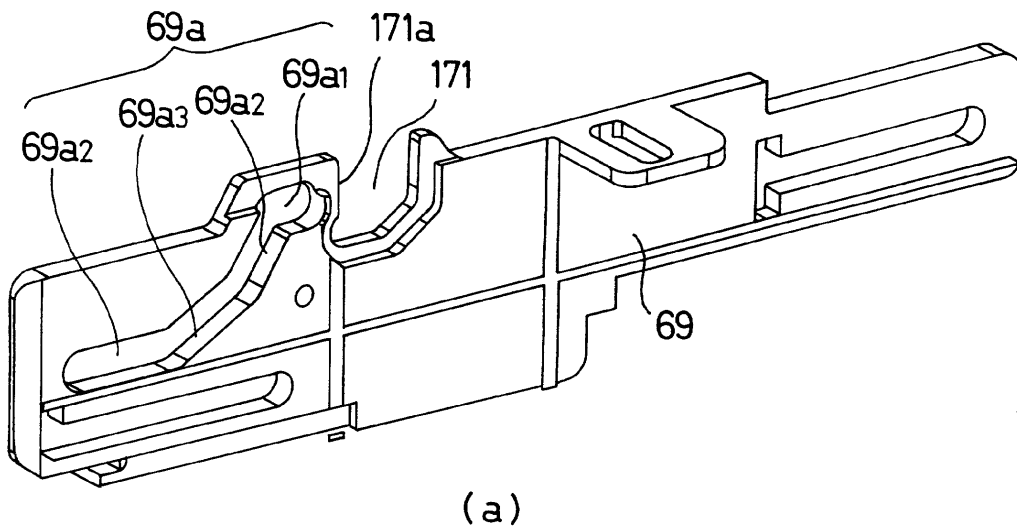
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3 4

【 補正方法 】 変更

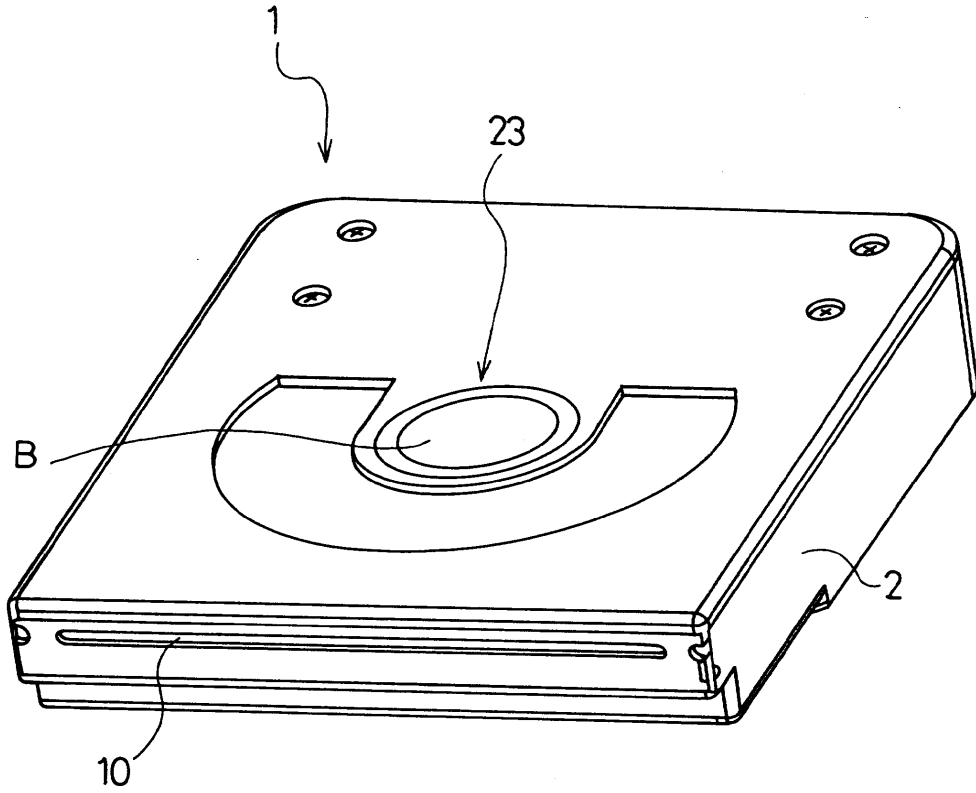
【 補正の内容 】

【 図 3 4 】



【 手続補正 1 7 】
【 補正対象書類名 】 図面
【 補正対象項目名 】 図 3 5
【 補正方法 】 変更
【 補正の内容 】

【 図 3 5 】



【 手続補正 1 8 】

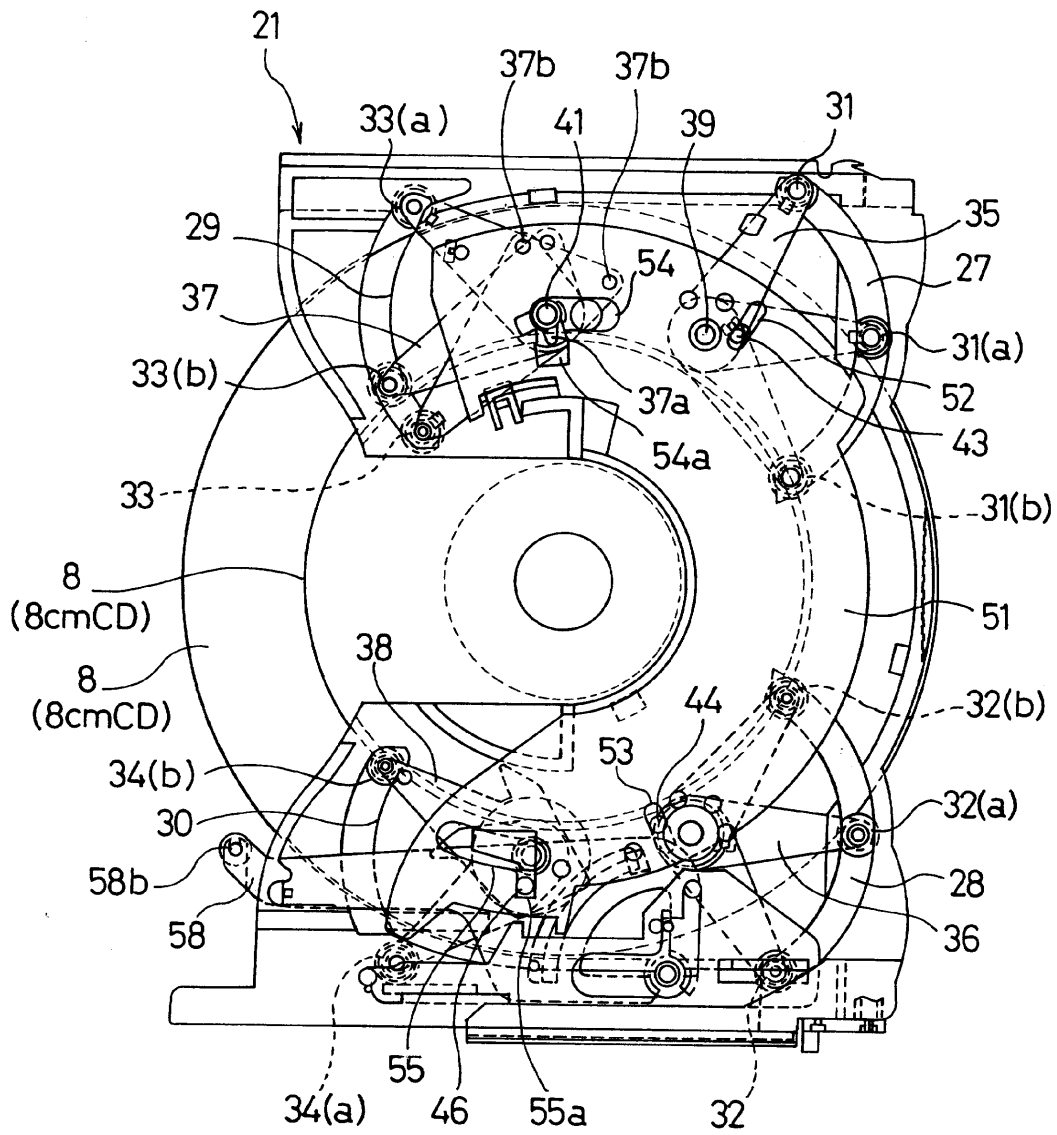
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 3 6 】



【 手続補正 1 9 】

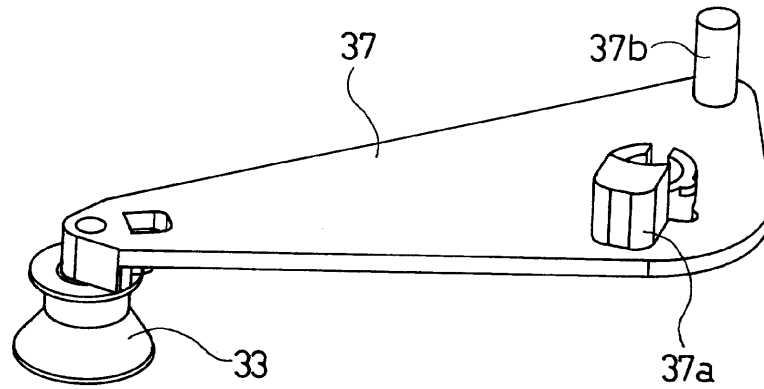
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3 7

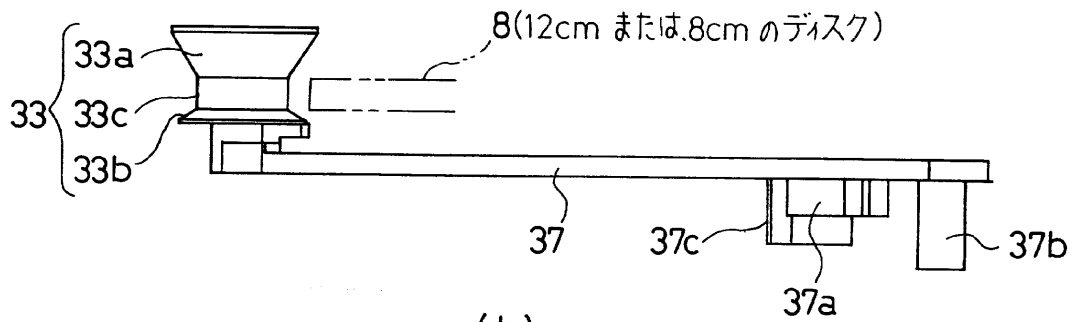
【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

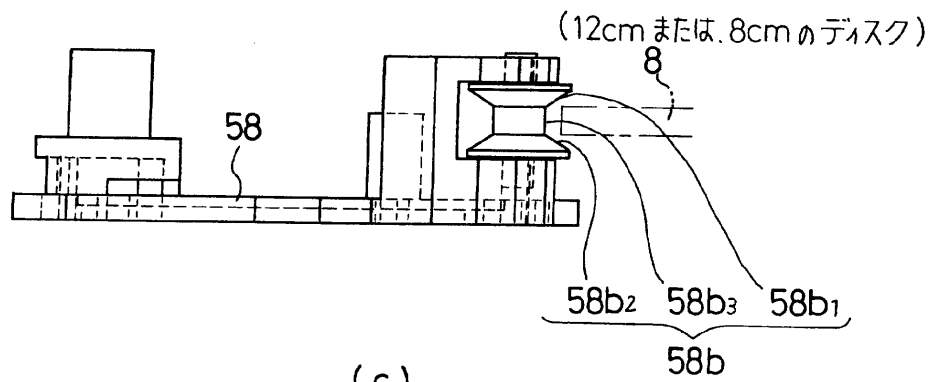
【図 3 7】



(a)



(b)



(c)

【手続補正 2 0】

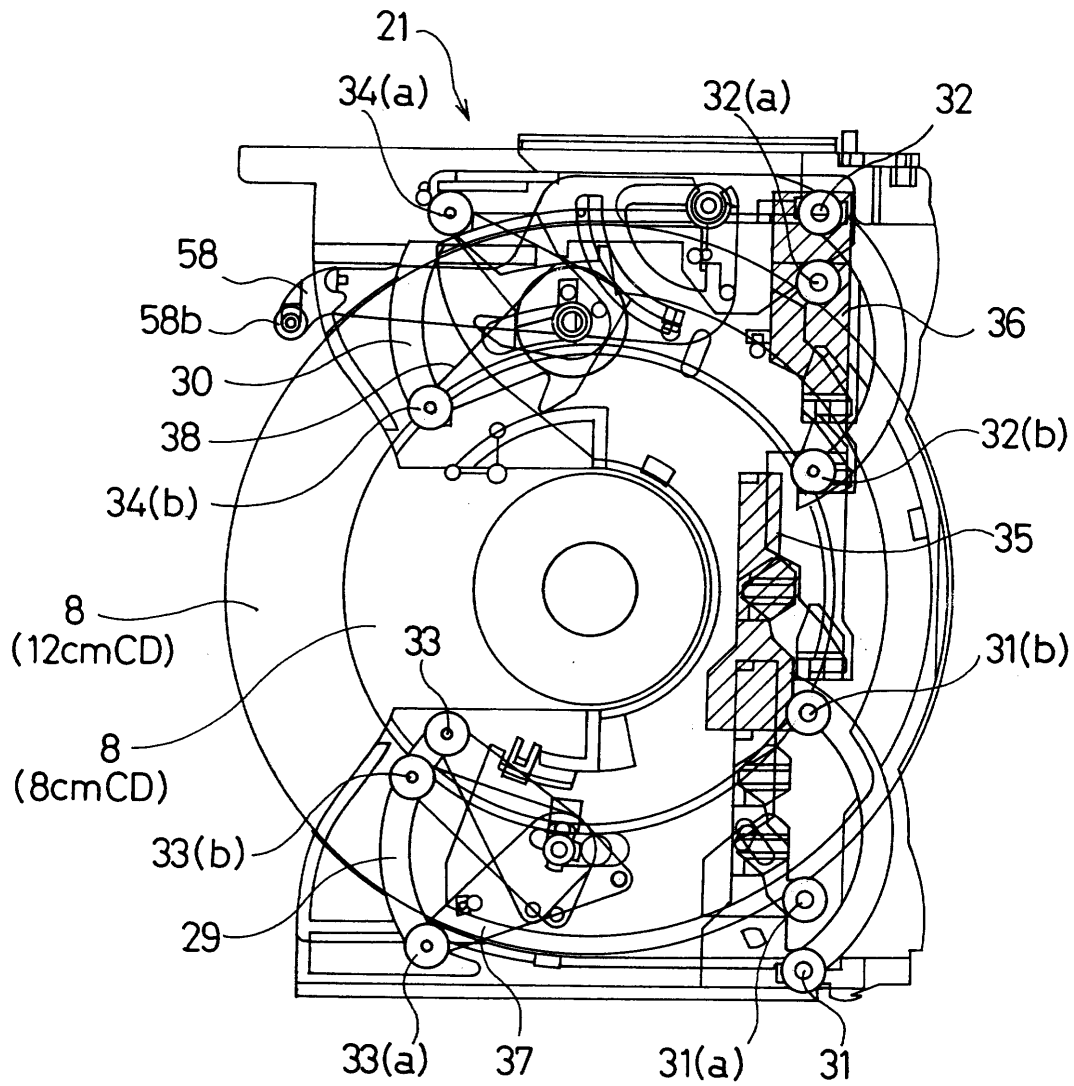
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 3 8 】



【 手続補正 2 1 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 3 9

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 3 9 】

